

『PCA 医療法人会計シリーズ』バージョン1.0、リビジョン6.11 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SCY231023

※『PCA Client-API』や他のカスタマイズ(アドオン)プログラムをご利用のお客様は、アップデート後のカスタマイズプログラムの動作への影響について、事前にご確認ください。
動作に問題ないことを確認後、アップデートを実行してください。

■互換性に関する変更点の有無について

◇データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「7.29」に更新しました。

新規領域作成時に登録するデータを追加しました
・消費税申告書設定項目

◇汎用データの変更について

以下の汎用データレイアウトを追加しました。
・取引先別税区分別集計表

■主な機能強化・仕様変更点

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。
※ご利用のシステムにより、一部ご利用になれない機能があります。

◇消費税帳票のインボイス対応

- ・「消費税申告書・付表」「電子申告」は、令和5年度様式に対応しました。
- ・「消費税申告書・付表」の[申告書の項目設定]に「税額控除に係る経過措置の適用(2割特例)」「免税事業者から適格請求書発行事業者への切り替えあり」「免税期間の課税売上高」を追加しました。
- ・「消費税申告書・付表」の「名称又は屋号欄」を「法人名」に変更し、[申告書の項目設定]の各項目も「法人名」に合わせました。
- ・「消費税申告書・付表」の「一般課税」において、[申告書の項目設定]にある[仕入一積み上げ方式]の初期値を「ON」に変更しました。
- ・「消費税申告書・付表」の[還付申告の項目設定]に、棚卸資産等、固定資産等を取得した取引先の登録番号を追加しました。
- ・「電子申告」の[電子申告データ出力]に[(e-Tax)通知希望区分(還付金振込)]を追加しました。
- ・「消費税明細書」の集計条件に[補助科目(取引先)]を追加し、適格事業者・非適格事業者ごとに確認できるようになりました。また[詳細条件]タブにて、金額範囲、摘要を指定し、検索できるようになりました。
- ・「消費税集計表」の免税事業者からの課税仕入れの税区分に「消費税額(国税分)の計算」「積上消費税額(国税分)の計算」行を追加しました。
- ・新しく「取引先別税区分別集計表」を追加しました。「取引先別税区分別集計表」は、適格事業者・非適格事業者の[補助科目(取引先)]ごとに税区分別の金額を集計したり、「事業者区分」または、「情報公表サイト」の情報と税区分を比較したりすることができます。
- ・「達人シリーズ連動データの作成」の「消費税の達人連動」において、[令和5年10月1日以降終了課税期間分]に対応しました。

◇機能強化

- ・「補助科目の登録」のツールバーに「適格情報更新」ボタンを追加し、[法人情報の変更]確認ダイアログの初期値を「OFF」に変更し。

以上